



Biz Com

<http://www.rikkyo.ac.jp/sindaigakuin/bizsite/graduate/bizcom.html>

2021年夏号

— 学生賞・プラン賞・論文賞特集 拡大号 —

2021
VOL.62

CONTENTS

01-06	18期生 表彰者 / 22名の先輩方に研究の心得とMBA生活についてインタビュー
07-08	平川先生 最終講義 / 亀川先生、高柳先生との対談内容を一挙に掲載
09-11	2021年新任教員紹介 / 山崎先生、古川先生、安田先生の3名にインタビュー
12	池袋ランチマップ / あまり来ることのないキャンパスだけれども、せっかくなら



優秀学生賞

榎並裕乃さん

■学生生活を振り返って: 私はRBS2年間の間に妊娠、出産、子育てを経験したので生涯忘れられない学生生活になりました。つわりの時はベッドの中で課題に取り組み、臨月も大きなお腹で通学、産後は泣き止まない子供をあやしながら修論作成、今となってはどれも良い思い出です。RBSの友人達は妊娠期、鞆を持ってくれたり、先輩ママパパとして授業の合間に子育てについて教えてくれました。先生方、仲間、先輩方、家族、本当に多くの方の支援があったからこそ2年間頑張れたと心から感謝しています。RBSで出来た人脈は生涯の財産です。

■特に印象に残った講義や思い出など: 木村先生の経営学基礎は経営学の知識や用語等何も知らず入学した私にとって本当に有難い授業でした。授業の前後の予習復習、そしてクラスでの学びを通して経営学の基礎をインプットでき、他の授業の学びにも繋がりました。また安部先生のリーダーシップ論、アントレプレナーシップ、ゼミを通して自分がどんな経営者になりたいか、しっかりイメージすることが出来るようになりました。安部ゼミではゼミ長を務め、オンライン合宿を実施、また先輩や外部講師等30名程の方々にご指導をいただきながら学び合うことが出来ました。大変貴重で有意義な時間でした。



榎広貴さん

■学生生活を振り返って: 学んだ理論の実務への展開や職場内では経験できない先生方・同級生の多様な価値観に触れる事、それらを通じて学ぶことの楽しさを実感できた私の人生において宝物のような2年間でした。先生方や同級生には感謝しかありません。今後は学んだことを更に実務に展開していきます。また魅力的な授業が数多くあったため志望するものがすべて履修できず、単科履修などで更に受講する事も検討中です。

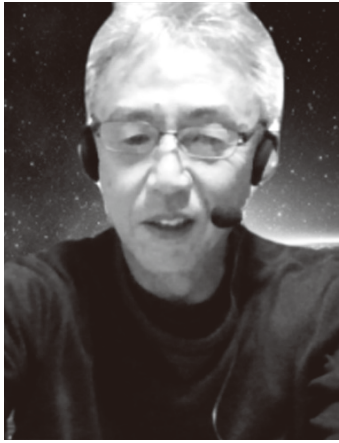
■特に印象に残った講義や思い出など: すべて印象深いですが、グループワークの醍醐味を味合せたコンサルティング・メソッドとビジネスシミュレーション、修士論文で組織論を選ぶ契機となりアカデミックな世界を垣間見られた山中先生のビジネス・オーガニゼーション、フレームワーク中心の点だった知識を体系立てられた手塚先生のコーポレート・ストラテジーが特に印象に残ります。何よりも2年時はコロナ禍でかなり限定されましたが、先生方・同級生との語らい自体も大きな学びの場であり、思い出です。

漆原一博さん

■学生生活を振り返って: RBS入学当初は、税務知識習得とともに再生可能エネルギーの事業化や賃貸事業の別展開を漠然と考えておりましたが、2年間の様々な学びを通して点と点がつながり、現在の金融・税制・経済・社会の流れを俯瞰的にみるとともに、絞り込んで今後の具体的な方向性などに結実し、自分なりの成長を実感しています。これからはRBSで得た知識・情報をさらに高め、自分なりのポートフォリオの最適解を求めて挑戦を続けます。

■特に印象に残った講義や思い出など: チームで競い合いながら皆が力を合わせてひとつの事を成し遂げていく野田先生の経営財務やビジネスシミュレーションは、チームの連帯とともに対面授業ならではの達成感ある充実した授業でした。また、鈴木秀一先生から学部生の前でプレゼンすることを依頼され、9号館大教室で私の長男を含む300人くらいの学生の前で話をしたことは良い思い出となりました。





漆原一博さん

子育て世帯によるコラボレーティブ・リビングの ビジネスプラン

相互扶助による快適な生活環境の実現

■内容:「人口減少=生産人口の減少はAIと女性の労働参加によって補われる一方で、女性の負担増は少子化を深化させる」という仮説を基に、労働参加と子育ての両立という女性の負担を、地域に住む子育て世帯で協力して食事当番を輪番制にするなど負担軽減に取り組み、近い将来AIにより置換され減少する就労機会を、協業から派生する連帯に地主や自営業者を巻き込む地域事業の波及によって創出して地域活性を維持するというビジネスプランです。

■作成で得られたベネフィット:人口動態をコホート分析などによって解析していくと、これまで見えてこなかった地域人口の年齢別転出入が明らかになるとともに、新築住宅の分譲物件数ならびに賃貸住宅の間取りが転入・転出口の年齢分布と相関関係があることが明らかになりました。今後の人口減少や単身世帯の増加は、賃貸住宅の需要に大きな影響を及ぼすことから、更新を控えている賃貸物件の将来の投資の方向性を探るリサーチのきっかけとすることができました。

土屋勇磨さん

ウイスキービジネスによる 軽井沢の地域ブランド向上プロジェクト

■内容:軽井沢にウイスキー蒸留所を設立、富裕層向けの投資ビジネスとして展開して10年後のバイアウトを目指すアセットマネジメント事業。

■作成で得られたベネフィット:先生と一緒に1年間、類似ビジネスの研究やリアルな投資対象としてのアドバイスを受ける事ができた結果、リアルに投資家からの出資が得られました。多くの方から軽井沢×ウイスキーは面白いと評価いただきました。その結果、資金調達には6億円まで実現

しています。

先生からのアドバイスには反論せず、一旦受け入れて調査し、ブラッシュアップする事が論文としても実際の事業としても成功すると確信。ゼミの活用の仕方によって結果が変わるのでいい意味で先生を最大限活用しましょう!



大場直樹さん

戸建住宅の適正価格フランチャイズの展開

長期保証制度とデジタルトランスフォーメーションの利活用

■内容:レッドオーシャンである、住宅業界において、デジタルトランスフォーメーションと長期保証制度を活用し、地域の工務店を対象とした戸建住宅供給フランチャイズチェーンを構築する。ノウハウを活用した原価低減とモデルハウス、営業人員を必要としないことによる、販管費低減により、ローコスト化を実現する。消費者への訴求を高めた商品力をベースとしたB2B2Cのビジネスモデルを通じ、エンドユーザーのQOLの向上と地方創生を達成する。

■作成で得られたベネフィット:私の実務を通じ実現可能である点と社会性・事業性・革新性を持った内容である点を踏まえ、住宅業界に関連する、過去の論文を読み込み、早い段階で全体の仮説を設定しました。指導教員の手塚先生の本質を捉えた的確なアドバイスとゼミのメンバーの質問を通じ、ターゲットに合わせた住宅購入検討者500名のアンケートも取得しました。いかに主観を排除し、客観的事実を踏まえた、蓋然性の高いプランとする検証作業を繰り返すことが重要です。

大嶋邦之さん

未来のリーダーを育てる子ども向けコーチングアプリケーション提供事業とプログラミングスクール事業

■内容:子どもの自己肯定感、自律性を育むことを目的に、子ども向けコーチングアプリケーションの提供。論理的思考力、表現力を育むことを目的に、オンラインプログラミング教室の運営。両事業を並行して進めるプランを検討しました。変化の激しい時代、終身雇用が崩壊し、既存の仕事が新しい仕事に置き換わる世の中。知識、技術を身に付けるとともに、自分に自信を持って前向きに変化に対応出来るようになることが子どもたちの人生を充実したものにしてくれると信じプラン検討しました。

■作成で得られたベネフィット:ビジネスデザインを検討していく中で、多くの人たちと出会えたこと、その出会いの中でさまざまな気付きを得られたことが自分にとっての大きな収穫です。指導教授、ゼミ仲間、同期、先輩、後輩、協力して下さった皆様のアドバイスや指摘。そのおかげで、ぼやけていた自分のプランの解像度が少しずつ高まり、分かりやすくなっていったことを実感しました。ご協力頂いた方々へ心からの感謝を改めてお伝えさせていただきます。





山田圭一さん

塗装業者の負荷を軽減する遠隔支援 ビジネス・センサーを活用した支援ビジネスの実現

■内容:テクノロジーを活用して、塗装設備の状態をモニタリング、診断し、塗装設備に使用されている機械器具の予防保全をおこなう事業計画です。塗装設備とは、様々な機械の集合体です。

この機械の集合体を直すのに、現状塗装業者は問題が起きた段階で総合病院に駆け込み、総合病院は症状に合わせてあなたはA病院、あなたはB病院と紹介状を書いて振り分けていました。しかし、私の事業は、病気に掛かる前から予防を行い、当社で全て解決し、長寿命化を後押しする、このようなビ

ジネスを展開する事業です。

■作成で得られたベネフィット:プランを作成することで、今まで感覚的に捉えていたものを、視野を拡げて論理的に俯瞰して整理することができたと感じています。実際に私は塗料卸売業に従事し、塗料自体はコモディティー化している中で、顧客の困り事は塗料ではなくサービスであることが定量・定性調査で垣間見えました。本プランは作成して終わりではなく実際に実行していきます。実学一体で事業成功に向けて邁進し、塗料・塗装というレガシー産業を変革します!!

美濃口正典さん

■学生生活を振り返って:RBSでの2年間を振り返って思うことは、優秀な教授陣や様々なバックグラウンドを持つ同期生に恵まれ、本当に有意義な時間を過ごせたということです。製薬会社で新薬の研究に携わってきた理系人間にとって、経営に関する言葉自体が新鮮でどの講義も刺激的でした。RBSで学んだこと、同期生や教授陣、そしてOBOGの方々との人脈は一生の宝物です。今後のビジネスに活かしていきたいと思います。

■特に印象に残った講義や思い出など:経営に関する知識の少ない私にとって、木村先生の「経営学基礎1・2」は必修科目でした。経営学を学ぶ上で必要な基礎的な知識を得ることができ、グループディスカッションを通してファシリテーションについても学ぶことができました。それから、安部先生の「アントレプレナーシップ」では、起業に必要なことを議論し、ビジネスプランの作成を通して自分の思いを具現化することができました。安部先生の人柄にも魅力を感じ、安部ゼミを選択しました。徹底的に経営理念にこだわってビジネスプランを作成する安部ゼミを選んで正解だったと思っています。



鈴木浩喜さん

不動産賃貸管理アプリの開発・運営

自主管理オーナー向け賃貸管理アプリ

■内容:不動産賃貸管理会社と契約せず自主的に管理している賃貸不動産オーナー向けに「クラウドアプリを通じて賃貸管理サービスを提供する事業」のビジネスプラン。在学中に会社は起業した。システムエンジニア、シリアルアントレプレナー、私の3名で起業。数年後にIPOを目標としたプラン。人口減少により国内市場の拡大は期待できないため、国内で一定のシェアを獲得後は海外展開を目指すプランとした。

■作成で得られたベネフィット:今までに経営企画担当役員の経験などから事業計画作成は数多く経験していた。しかし今回の論文としてのビジネスプランの作成を通じて、より深くより多面的に事業を検証する方法を学んだ。また、多くの人達に作成したプランを見ていただきコメントを頂いたことにより、自分が今までに思いもしなかった視点が身についた事、論文としての体裁や作法について学べた事はとても有意義でした。

ヒシゲームンフバトさん

モンゴル初の オンライン家庭教師サービスの実現

モンゴルの教育格差をなくす為に

■内容:モンゴルでは地方と都市で教育格差が激しく問題視されています。更に去年からコロナ過の影響で休校状態が長く続いており、教育が目玉するべき分野となっています。そのため、場所や時間を問わずに高質な教育を受けられるためにモンゴル初のオンライン家庭教師サービスを提供します。そのサービスを通じて空いた時間で副業し収入を得たい教師と勉強に困っている生徒をマッチングすることで社会に貢献したいと思います。

■作成で得られたベネフィット:ビジネスを考える上での実践的な能力を身に付けるためにビジネスプランを選択しました。

この経験を通してビジネスを経営理念の定義から出口戦略の策定までプランニングして授業で学んだ知識をより深めることが出来ました。毎週のゼミでの発表を通じて自分の考えを他人に伝えるための資料作成と発表術が向上されたと思います。更に先生方々、先輩達、同級生達のフィードバックも貴重な勉強になりました。





山内直さん

トップマネジメントチームの多様性と組織成果

日本の自動車産業を対象とした組織レジリエンス構築に関する実証研究

■内容:本研究は、国内自動車業界のトップマネジメントチームを対象に、いかなる多様性が組織成果に結びつくのか、実証研究を行ったものです。国内自動車産業は、終身雇用、年功序列等の日本的経営に支えられた高い凝集性をもとに競争力を発揮してきました。昨今の急変する環境において、こうした日本の経営、そして、昨今その重要性が叫ばれる多様性活用は、企業の成果指標にいかん影響を与えているのかについて探っています。

■論文の作成で得られたベネフィット:諸先行研究を読み進めていくことで、これまでの研究では何が明らかにならず、何が明らかになっていないのかを探るプロセスは刺激的でした。残念ながら論文の作成だけで当該分野の深奥を究めることはできませんでしたが、学問的探求の奥深さ、先行研究の緻密さ、それに臨まんとする精神的態度は少しながら学ぶことができました。こうした言語化が難しいものに触れることができたのは、大学院で学んだからこそであったのかと思います。

國分さやかさん

ワークエンゲイジメントと心理的安全性についての考察

■内容:ハーバード大学のエドモンドソン教授は、チームメンバーの心理的安全性に影響を与える「上司の行動」を8項目提唱していますが、8項目の中でもより効果的な項目があり、それはチームメンバーの属性によって異なるとの仮説を立てて研究しました。その結果、効果的な項目はチームメンバーの属性によって異なる傾向があること、また、上司から「信頼されている」と感じることも心理的安全性に影響を与える傾向があることを見出すことができました。

■作成で得られたベネフィット:FP講師や研修講師としての自分に限界を感じ、打開策を求めて幅広くビジネスについて学べるRBSに入学しました。試行錯誤する中で、温かさの中に厳しさもある先生方のご指導のもと、時代に即しているだけでなく、本当に興味深いと感じる自分にふさわしいテーマに出会うことができました。現在、研究内容を元にした新しい研修コンテンツの作成に着手しております。変化していく社会に貢献していけるよう、研究を続けていきます。



大室聡志さん

宿泊業のIT・ロボット化に関する一考察

ロボット化による離職率低下の可能性

■内容:日本の宿泊業における経営管理課題は、離職率が高いことである。そのため、宿泊業の高い離職率に関して数多くの研究が行われてきた。しかし、それらの研究は人と人が働く環境における就業意識に関する研究であり、人とロボットが働く環境での研究は行われていない。この研究では、世界初のロボットホテル「変なホテル」を対象に就業意識の相違点を調査し、ロボットと働くことで離職率が低下する可能性を示唆した。研究の結果、「感情労働低減」と「内向型人間の働

きやすい環境」という企業のHRMに新たな考えに貢献できた。

■作成で得られたベネフィット:宿泊業のIT・ロボット化と聞くと、効率化、省人化、コストダウン、ホスピタリティ低下などを考えてしまいがちであるが、研究テーマを絞り込んでいく過程で、問題を違う角度から捉えることができるようになった。コロナでさらにIT・ロボット化は進み、さらなる研究が必用であることから、生涯続けられる研究テーマに出会えたと感じている。

日比野将さん

なぜ8%のIPOは初値が公開価格を下回るのか

IPOの市場動向とマーケット・マイクロストラクチャーによる実証的分析

■内容:IPOアンマリーは公開価格と初値の関係に由来します。2012年以降に東京証券取引所の新興市場に上場した488社のデータでは、IPOのうち92%が投資家に収益をもたらしました。一方、8%の企業は公開価格 \geq 初値となり投資家に損失をもたらしました。IPOアンマリーの解明は、前者の結果を用いることが一般的ですが、本論文においては後者からアプローチしています。「原則、初値は公開価格を上回る」という各関係者の期待を覆す8%のIPOに迫ることが本論文の主旨です。

■作成で得られたベネフィット:多くの支えに恵まれたことと、学ぶ要領を掴めたことです。論文の執筆には不慣れな分野・言葉などに多く直面しますが、先生や同期生と意見交換を重ねながらの作業は非常に心強かったです。また、自ら調べて勉強しなければならないことも膨大ですが、皆さんからのご意見や参考文献からの言葉が、自身の武器として知識になることに気が付く瞬間は気持ち良いです。社会人大学院での経験や出会いはキャリアにおける財産であるとよく言われますが、その通りであると実感しました。





大藤 充彦さん

サイコロジカル・キャピタル(心理的資本)が、 社会人の学びなおしに及ぼす影響について

国内ビジネススクールを題材として

■内容:ミドル・シニア世代の「キャリア開発」を上位テーマとして、「社会人の学びなおし」の効果を検証しました。学術理論「心理的資本(PsyCap)」を核に、『「PsyCap」の持つ自律性が「社会人の学びなおし」を媒介してキャリア開発のエンジンの一部となっているのではないか』という仮説を、「ビジネススクールにおける社会人の学びなおし」を題材にして明らかにしています。

■作成で得られたベネフィット:得られたベネフィットは2つあります。

1つめは、テーマとして自身の興味のあることを設定したため、それらを幅広く調査する事によって現在自身の興味のある分野の知見が増えたこと。(テーマは新しい知見や専門性を獲得したかったため「仕事とは直接関係はないけれど興味のある分野」を設定しました。)

2つめは、ネットやその他の情報源からの情報の調べ方や、また文章の書き方、纏め方が身についたことです。論文作成を通じて、自身の手で出来る事が増えたことを実感しています。

西條 尚志さん

環境変化に対応できる外食ビジネスの研究

新型コロナ禍における考察

■内容:新型コロナの感染拡大の影響で窮地に立つ外食企業の生き残りのために、新型コロナ禍においても業績を回復している企業と、そうでない企業との明暗を分けている要因について考察し、データを分析することによって、その要因を明らかにしました。先行研究の示唆から、正社員比率の高い企業や営業利益率の高い企業の業績回復が早いものと考え研究を進めましたが、結論として消費者意識や消費者行動の変化に対応できていた、あるいは対応した企業の回復が早い傾向が明らかになりました。

■作成で得られたベネフィット:筆者は長年ビールメーカーに勤務し、個人的な背景として外食業界と関わりが深く、当該研究によって外食各社に対し、新型コロナ禍での早期回復の足掛かりのための提言をしたいと考えました。そのため当該研究によって得られたデータとファクトの裏付けから、回復の要因を明らかにできたことは功績であると考えます。また福井先生、青淵先生からのご指導とゼミの皆様のご協力のおかげで優秀論文賞を受賞できたことは大変な自信に繋がりました。皆様のご支援に感謝申し上げます。



前迫 篤男さん

差別化戦略がポジショニングの形成と ブランド・ロイヤルティの育成に与える影響について

■内容:「差別化戦略」がブランド戦略における「ポジショニング」の形成と「ブランド・ロイヤルティ」の育成に与える影響について実証する。その過程において「差別化戦略」を構成する差別化変数の再定義、および「ポジショニング」が「ブランド・ロイヤルティ」に与える影響の実証もおこない、ブランド戦略における差別化戦略の有用性とその構造を明らかにする。

■作成で得られたベネフィット:巨人の肩に乗り、新たな発見をすることが論文の基本フレームかと思います。よってその架け橋となるコトバの定義が重要になってくるため、より一層コトバの理解や解釈に意識が向くようになってきました。加えて、多変量解析を自力でおこなうことで、定量的に世の中をみる重要性や事象に対する因果関係がより認識できるようになりました。

上原 直樹さん

心理的安全性とリーダー、 メンバーの行動との関係について

A社における事例をもとに

■内容:組織を活性化し、生産性を高めていくためには、従業員が自分の考えや感情について不安を感じることなく発言できるという状態(心理的安全性)が必要である。心理的安全性のメカニズムを検証するため、中堅企業A社を対象に実証研究を行った。アンケート調査、インタビュー調査の結果、リーダー、メンバーの行動が心理的安全性へ及ぼす影響や、心理的安全性が学習行動、生産性へ及ぼす影響の実態が明らかになった。また、ダイアログ・コミュニケーションの必要性が示唆された。

■作成で得られたベネフィット:私にとって何よりも大きなベネフィットは、ゼミを通して、教授からの指導はもちろん、ゼミ仲間から様々な意見をいただいたことによって、ピアラーニングの機会が得られたことです。論文は、決して一人だけで書けるものではなく、教授や学生同士の意見交換を通じた学習によって、より研ぎ澄まされていくものであるということを実感しました。これは、論文作成に限らず、ビジネスにおいても同じことだと思います。このような体験をできたことは、私の人生の貴重な財産となりました。





チョウブンシンさん

日本におけるモバイル決済サービスの課題 コード決済を中心に

■内容：モバイル決済は、先進国よりも中国・東南アジアなど、日本より銀行口座の保有率が少なく、伝統的にリテール向け銀行サービスやインフラが発達していない国での普及が進んでいます。モバイル決済システムの先駆けである日本では、国際水準には程遠い普及状況です。本研究では、モバイル決済になじんだ外国人観光客を受け入れるためにはモバイル決済のさらなる普及が必要であることを意識し、日本におけるモバイル決済サービスの現状と今後の展開及び課題について考察しました。

■作成で得られたベネフィット：モバイル決済サービスは単なる決済アプリにとどまるのではなく、マーケティング、投資などの主要ドメインとして事業展開するグループシナジーの追求が事業の成長と生き残りの鍵となります。青淵先生、和田先生、ゼミの皆様にも凄くお世話になり、いつも丁寧にご指導をいただきました。研究する際には、粘り強いスピリットが大事であること、また、ゼミの皆様から毎週色々な考えとアドバイスをいただくことで、論文作成のアイデアになると共にいい仲間になることもできました。

江原義之さん

事務的不祥事を発生させる企業風土と組織のありかた 従業員の倫理観と非倫理的向組織行動の関係

■内容：企業不祥事は「組織的に経営者が関わる不祥事」と「現場で従業員が関わる不祥事」に分けられ、私は2010年頃から現場で起こる不祥事が増えてきたことに注目した。研究は、従業員の倫理観と非倫理的な行動（特に、従業員が悪意を持って行動していないにもかかわらず、その行動が倫理に反する行為となり、組織に不利益をもたらすこと）に着目し、どのような組織風土や企業倫理が従業員を非倫理的な行動に向かわせてしまうのか、その関係を分析検証した。

■作成で得られたベネフィット：学ぶことの大切さ、社会人になって、1年近く1つのテーマを追求する機会はほぼなく、調べれば調べるほど研究テーマの奥深さを知った。また、思い通りにいかず苦しいことも多かったが、達成感を得ることができ、社会に役立てたいと考えられるようになった。仲間の大切さ、努力の結果ではあるものの、周りの人々（指導教諭やRBSの先生方、ゼミ仲間、家族など）の協力や支援がなければ論文を書き上げることはできなかった。今ではRBSで出会った仲間の存在が財産だと感じている。



奥野辰広さん

戦略的アウトソーシングの形成要因に関する研究 上場企業のアウトソーシング利用実態調査

■内容：昨今、企業の経営資源の活用や事業の効率化にアウトソーシングが注目されています。アウトソーシングが単なる効率化やコスト削減の手段ではなく自社の経営資源を競争領域と非競争領域を切り分け、業務の効率化と高度化に対応し事業の成果に結びつけることが必要です。本研究は、経営戦略の理論研究に加えて、アウトソーシングを利用する上場企業に焦点を絞り、アウトソーシングの活用が戦略的に行なわれているか、調査分析し形成要因を明らかにしました。

■作成で得られたベネフィット：私が修士論文の作成にあたり、一番苦労したのが論文のテーマ設定でした。特に論文テーマの絞り込みに関して、正指導の高柳先生、副指導の田中先生と議論を重ねるうちに論旨の一貫性とテーマの絞り込みについて、何度も自問自答し、軌道修正を行いながら論文のご指導をいただきました。論文の作成を通じて、問題意識を持ち論文のテーマに対して、解明する努力を惜しまず粘り強く続ける大切を実感しました。また、仕事や育児もあり、限られた時間の中で、得るものが大きく自信につながりました。

永森徹記さん

研究開発投資と企業の成長性・収益性・企業価値の関係性 日本と米国のパッケージソフトウェア業を調査対象として

■内容：技術立国といわれた日本だが、技術のトレンドがハードからソフトに切り替わる世界的潮流の中、適応に苦しんでいる。その原因と今後の適応の可能性を探るべく、日米のソフトウェア関連上場企業の研究開発費と財務情報を比較した。その結果、研究開発投資と成長性・企業価値に有意な相関がみられ、かつ研究開発投資規模で、日本企業は米国企業に大きく遅れをとっていた。これにより、日本はソフトウェアへの研究開発投資が不足している可能性が示唆された。

■作成で得られたベネフィット：自分の仕事と関連する領域をテーマにすることで、普段の仕事からはなかなか得られない深さの知見を得られました。数値はすべて財務情報などの公開情報を使用したため、仕事でも十分に活用可能なものになったと思います。また、書き始める前は何万字もの文量をうまくハンドリングできるか心配でしたが、指導教員やゼミの方々との意見交換によってなんとか完成させることができ、オープンに議論することの重要性を改めて確認することができました。

